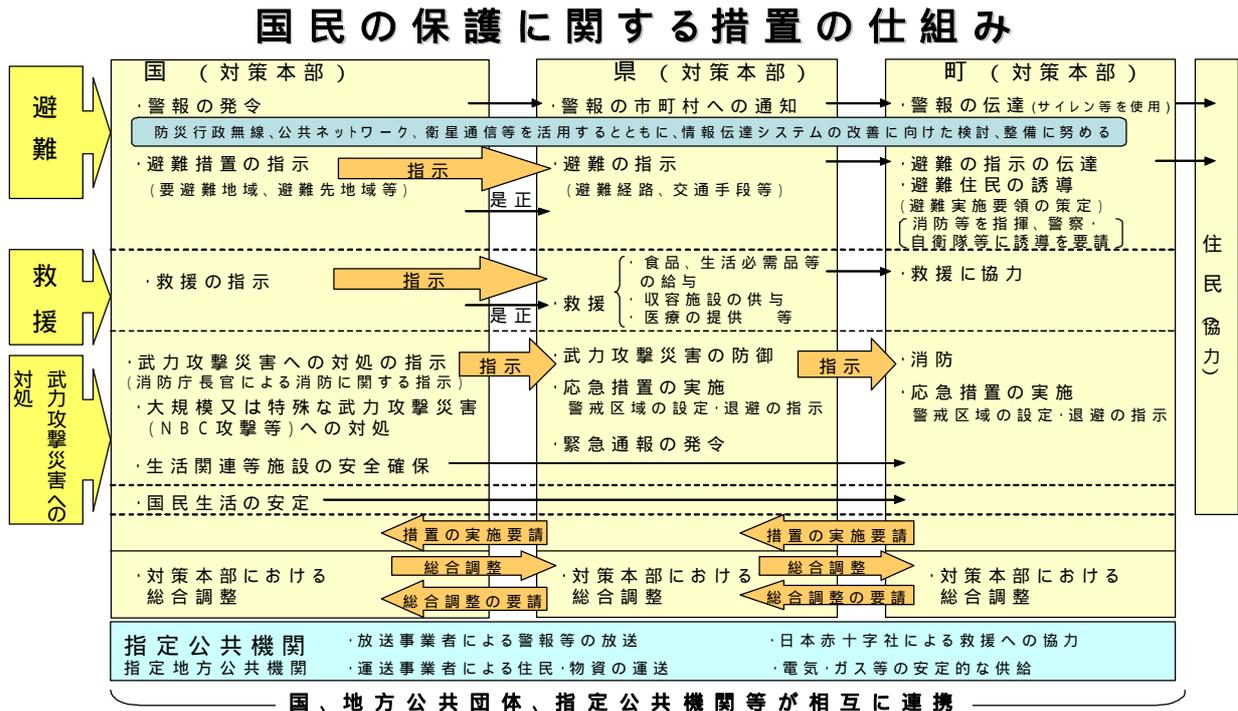


第3章 町の事務又は業務の大綱等

町は、国民保護措置の実施に当たり関係機関との円滑な連携を確保できるよう、国民保護法における町の役割を確認するとともに、関係機関の連絡窓口をあらかじめ把握しておく。

【国民保護措置の全体の仕組み】



町の事務

機関の名称	事務又は業務の大綱
南部町	<ol style="list-style-type: none"> 1 国民保護計画の作成 2 国民保護協議会の設置、運営 3 国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部の設置、運営 4 組織の整備、訓練 5 警報の伝達、避難実施要領の策定、避難住民の誘導、関係機関の調整その他の住民の避難に関する措置の実施 6 救援の実施、安否情報の収集及び提供その他の避難住民等の救援に関する措置の実施 7 退避の指示、警戒区域の設定、消防、廃棄物の処理、被災情報の収集その他の武力攻撃災害への対処に関する措置の実施 8 水の安定的な供給その他の国民生活の安定に関する措置の実施 9 武力攻撃災害の復旧に関する措置の実施

関係機関の連絡先

資料編 関係機関一覧

第4章 町の地理的、社会的特徴

町は、国民保護措置を適切かつ迅速に実施するため、その地理的、社会的特徴等について確認することとし、以下のとおり、国民保護措置の実施に当たり考慮しておくべき町の地理的、社会的特徴等について定める。

(1) 地形

町は、県庁所在地の甲府市より南へ約 60km 離れた山梨県の最南端に位置し、北東から南西方向へ約 21km、北西から南東方向へ約 16.5km で、総面積は 200.63 km²、県土の約 4.5% を占めている。北側は身延町、東・南・西側の三方は静岡県（富士宮市、芝川町、静岡市）に接した県境の町である。

町の総面積の約 8 割が山林原野で、町の周囲西側には十枚山（1,726m）、篠井山（1,394m）、仏谷山（1,503m）青笹山（1,555m）、北東には天子ヶ岳（1,316m）、長者ヶ岳（1,336m）、思親山（1,030m）、南に貫ヶ岳（897m）、東に白水山（811m）、白鳥山（567m）と緑豊かな山々が連なり、その山あいには源を發した清水は、戸栗川、船山川、中村川、佐野川、楮根川、福士川、万沢川となって町の中央を貫流する日本三大急流の一つ富士川に注いでいる。また、これらの河川に沿って集落が点在し、中山間地特有の景観を形成している。

資料編 南部町全図

(2) 気候

気候は、年平均気温が 15 と比較的温暖で、年間降水量は 2,500mm 前後と山梨県内では最多雨地帯であり、降雪は極めて少なく、四季を通じて過ごしやすい太平洋沿岸気候に属している。

資料編 南部町月別平均気温、月別平均降雨量

(3) 人口分布

人口は、平成 17 年の国勢調査によると、10,254 人で、平成 7 年の調査時に比べ、5.6% 減少しており、昭和 55 年以降漸減傾向にある。世帯数は、平成 17 年の調査では、3,201 世帯で、1 世帯当たりの人員は減少傾向にあり、核家族化は進行している現状にある。

また、高齢化については、本町も例外ではなく、年齢別人口の構成比を見ると、高齢化のひとつの指標である老年人口比率（総人口に占める 65 歳以上の割合）は、年々高くなってきており、平成 18 年は、31.0% と県平均数値の 19.5% を大きく上回っている。

人口分布は、国道 52 号、JR 身延線及び河川沿線の平地に旧村ごとに密集しているが、30 戸から 50 戸ほどの集落が点在している。

資料編 年齢構成図、字別人口集計表

(4) 道路の位置等

道路は南北に、富士川を挟んで国道 52 号、主要地方道富士川身延線が走っており

、近い将来には中部横断自動車道の建設も予定されている。

資料編 南部町全図

(5) 鉄道の位置等

鉄道は南北にJR身延線が富士川沿いを走っており、内船駅、井出駅、十島駅があり、甲府方面や富士、富士宮方面への生活路線となっている。

資料編 南部町全図